

1. 別紙（第5条関係）

会 議 録

平成31年4月24日作成

会議の名称	平成31年度 第1回 和泉市社会教育委員会議
開催日時	平成31年4月12日（金）10:00～11:20
開催場所	和泉市コミュニティセンター 1階中集会室
出席者	社会教育委員名簿のとおり（8名出席）
会議の議題	<p>1. 議案 （1）平成31年度社会教育関係団体に対する補助金の交付について</p> <p>2. 報告 （1）平成30年度社会教育委員事業報告について （2）平成31年度社会教育委員会議・研修等のスケジュールについて （3）平成30年度生涯学習部事業報告について （4）平成31年度生涯学習部関係の主な事業の概要について</p>
会議の主旨	社会教育委員は、社会教育法第17条の規定に基づき、社会教育に関する諸計画を立案し、教育委員会の諮問に応じて意見を述べるため、定時又は臨時に会議を開催する。
会議録の作成方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 要点記録
記録内容の確認方法	<input checked="" type="checkbox"/> 会議の議長の確認を得ている <input type="checkbox"/> 出席した構成員全員の確認を得ている <input type="checkbox"/> その他（次回会議出席者の確認を得ている）
その他の必要事項	

審 議 内 容 （発言者、発言内容、審議経過、結論等）

（司会進行：事務局）

事務局より会議開催についての説明

本会議は公開することとなっているが、本日の会議は傍聴希望者がいないことを報告。

教育長挨拶

事務局より出席委員数の確認

委員総数9名のうち、出席委員8名、欠席者1名となっており、和泉市社会教育委員会議規則第5条の規定に基づき本会議は成立していることを報告。

(司会進行：議長)

1. 平成31年度社会教育関係団体に対する補助金の交付について(資料1)

事務局：社会教育法第13条で、「地方公共団体が社会教育関係団体に対し補助金を交付しようとする場合には、あらかじめ、地方公共団体にあつては教育委員会が社会教育委員の会議の意見を聴いて行わなければならない。」と規定されている。補助金に係る予算は成立済みだが、この会議で意見を募り、各団体への交付手続きに入る予定。現在、生涯学習部の社会教育団体として運営されているのは、和泉市文化協会、和泉市青少年指導員協議会、和泉市子ども会育成連絡協議会、和泉市PTA協議会、和泉市子ども会リーダークラブの5団体。平成31年度予算では、5団体に対し補助金交付を予定しており、部としても各種社会教育団体の自主的な活動支援のために必要な経費であることは十分認識しており、結果、同案となったもの。各団体への補助金額の増減は、和泉市文化協会は消費税増税を見込んだ印刷費計上により2千円の増額、和泉市子ども会リーダークラブは会員数の減少等により1万2千円の減額、その他の団体については増減無し。

※質疑事項なし

2. 報告

(1)平成30年度社会教育委員事業報告について(資料2)

事務局：○9月7日近畿地区社会教育研究大会(和歌山市和歌山県民文化会館ほか)

3名の委員が出席

研究テーマ「人と人とのつながりを築き、絆を深める社会教育～故郷への愛着と誇りを大切にしながら～」：高野山大学名誉教授の記念講演、分科会では奈良県の学校・家庭・地域の協働についての発表に参加

○2月13日泉北・泉南地区社会教育委員研修会(本市が当番市、久保惣記念美術館で開催)

6名の委員が出席

美術館職員による「所蔵品と事業について」の講演、学芸員による展示解説を実施
本市を含め7市3町から35人の社会教育委員が参加

○2月20日大阪府社会教育研究会議(大阪府中央区のシティプラザ大阪)

2名の委員が出席

大阪教育大学教授の講演、グループに分かれ、社会教育委員の取り組みについて情報交換

※質疑事項なし

(2)平成31年度社会教育委員会議・研修等のスケジュールについて(資料3)

事務局：○本日4月12日、「第1回社会教育委員会議」開催

○10月24日～25日「近畿地区社会教育研究大会」(兵庫県神戸市)

○1～3月の間(時期未定)「大阪府社会教育研究会議」及び「泉北・泉南地区社会教育委員研修会」

○2～3月の間(時期未定)「第2回社会教育委員会議」

令和2年度社会教育団体に対する補助金の交付、今年度の社会教育委員事業報告、生涯学習部事業報告などを議題とする予定

※それぞれの日程は、詳細が決定次第案内

※上記以外にも、審議が必要なテーマが発生した場合は随時、社会教育委員会議を開催

委員：10月の「近畿地区社会教育研究大会」は3日間の日程ではないのか。

事務局：初日の10月23日は、全国社会教育委員の連合理事会及び事務局会議なので出席不要。

(3)平成30年度生涯学習部事業報告について(資料4)

【生涯学習課事業説明】

(所管13事業について生涯学習課が説明)

※質疑事項なし

【青少年センター事業説明】

(所管 4 事業について青少年センターが説明)

委員：「青少年学習活動推進事業」は予算残額が大きいですが、事業実施はうまくいったのか。

青少年センター：資料の数値は3月15日現在のもの。春休み期間中にも講習・講座を実施している。消耗品等で不要額が出ているが、毎年夏休みには子どもたちにもアンケートを取り、事業の見直しをしながら、魅力ある講習・講座の実施に努めている。

委員：青少年自主活動支援事業は、1者しか応募はないが、何とかならないか。

青少年センター：人権・防災・平和・自然環境保護問題というテーマで事業者に委託している事業だが、タイトルの的にも参加者の獲得が難しい。昨年度はこちらからさまざまな情報提供をし、事業者も試行錯誤しながら内容を見直され、全体事業の定員が240名のところ196名の参加があり、参加者が大幅に増えた。

委員：参加者が増えたなら結構である。

【文化財振興課事業説明】

(所管 7 事業について文化財振興課が説明)

※質疑事項なし

【久保惣記念美術館事業説明】

(所管 1 事業について久保惣記念美術館が説明)

委員：いずみアピール課と共同で行った「Art Gush」は大変良い試みだと思うが、市民周知が不足しているのではないか。PRの方法を工夫してほしい。

議長：ミュージアムタウンに桃山学院大学の学生も関わったが、初めはほとんど広報されておらず、学生たちは残念がっていた。せっかく作られたものはもっと活用し、広報していただきたい。

委員：普及事業の、小学校6年生を対象とした美術鑑賞学習は毎年実施しているのか。

久保惣記念美術館：平成17年度に始まり10年以上になるが、市内21校の小学6年生を対象に全員が学校単位で美術館を訪れ、学芸員の説明を聞きながら美術鑑賞やスケッチを行っている。また、文化財振興課とも連携し、いずみの国歴史館も訪れている。

委員：実施後は、各学校において学びにつなげていく実践や報告がなされているか。

久保惣記念美術館：絵画・作品の説明は学芸員が行っている。作品の絵葉書を一人1枚ずつ記念に児童達に持ち帰らせ、主に家族に宛てた感想を書いてもらって、美術館でも来館者向けに展示するという試みを事業の一環として行っている。

副議長：茶室の改修の進捗状況は。

久保惣記念美術館：茶室は、大阪北部地震が起きた昨年6月末から公開を中止しており、昨年11月に府の補助金を受け耐震診断を実施中。耐震診断と、耐震診断結果に基づく補強案を平成30・31年の2年間をかけて策定しているところである。その結果を受けて今後、どのような耐震補強工事が必要か検討を行うことになり、耐震診断の結果が出ていない現在、公開の目処はたっていない。

【読書振興課事業説明】

(所管 2 事業について読書振興課が説明)

※質疑事項なし

【スポーツ振興課事業説明】

(所管 4 事業についてスポーツ振興課が説明)

委員：指定管理事業者実施の事業が多いが、市直営で実施していた時期に比べきめ細やかさに欠けるとい
う市民の声が多い。特に光明池緑地運動場や榎尾川公園のテニスコートが使いにくくなっていること
や、各種教室も市直営で実施していた時の方が良かったという声を聞く。

指定管理事業者への指導をお願いしたい。また、テニスコート 5ヶ所中 1ヶ所しか壁打ちをできる施設
がないので改善してほしいとの声もあるので検討していただきたい。

(4) 平成 31 年度生涯学習部関係の主な事業の概要について (資料 5)

【生涯学習課事業説明】

(所管 13 事業について生涯学習課が説明)

※質疑事項なし

【青少年センター事業説明】

(所管 4 事業について青少年センターが説明)

※質疑事項なし

【文化財振興課事業説明】

(所管 7 事業について文化財振興課が説明)

※質疑事項なし

【久保惣記念美術館事業説明】

(所管 1 事業について久保惣記念美術館が説明)

委員：生涯学習課所管の市民大学教養学部に「泉州学」が新設されたが、文化財振興課所管の和泉史塾
とドッキングするとより良いのではないかと。

まちづくり学部は、各学科定員 25 名に対して本科 8 名・スキルアップ学科 7 名の応募しかなく、まだ
募集期間中とはいえ、入学希望者が低迷している。2・3 年目の時は各所を回って私自身も PR に努め
たが、4 年目の今回は忙しくて勧誘に回れない。設立時期に協力した立場としては残念に思うが、今後
についての考えは。

生涯学習課：昨日時点で本科 9 名・分科 7 名となっている。これまで、和泉市社会福祉協議会の年輪大
学・年輪大学院と青少年指導員協議会には宣伝に伺い、明日 4 月 13 日開催のこども会育成連絡協議会
総会や市 PTA 協議会でも PR する予定。

昨年より若干少なめではあるが、昨年も 4・5 月に伸びたという実績もあるので、6 月 1 日の入学式に
向けて引き続き受講生確保に努めて参りたい。

議長：昨年度は桃山学院大学の学生達と一緒に“まちづくり学部”に関わり、学生達と一緒に講義をし、
受講生と交流できる機会があったが、今年度は桃山学院大学の教員は登用されていない。学生と地域の
方がお会いする機会は今中々なく、昨年度は良い機会だったと思うので、今後もそのような機会を設ける
よう検討していただきたい。

生涯学習課：2 月の生涯学習推進委員会での審議の際にも、委員から同様のご指摘をいただいた。
今年度は 4 年目に入るということで、全 18 回だったカリキュラムを、受講生の負担を減らすために全
12 回とするなど変更を行ったが、来年度に向けてさらに検討を進めて参りたい。

委員：文化財振興課では和泉史塾では補講を実施しており好評である。いずみ市民大学のまちづくり学部でも同様に補講日を1日設定すると受講しやすくなり、参加者増にもつながるのではないか。

【読書振興課事業説明】

(所管2事業について読書振興課が説明)

※質疑事項なし

【スポーツ振興課事業説明】

(所管3事業についてスポーツ振興課が説明)

委員：廃止された和泉弥生ロマン・ツーデーウォークは遠方からの参加者もあり大変好評で、市民のスポーツ振興にも市のPRにもつながる大変良い事業だったと思うが、何故廃止したのか。

今度はスポーツ振興課でやるという考えはないか。

スポーツ振興課：当事業がどのような経緯を経て廃止となったのかは聞き及んでいないが、かつては商店街活性化事業の一環で全国から集客して市をPRし、商店街で事業参加者に湯茶接待を行い、商店街のにぎわい創出を行ったという経過がある。

日本ウォーキング協会の認定を受けるのは非常にハードルが高く、当事業に代わる大きな事業は難しいと考えるが、ウォーキングはスポーツ振興・健康増進につながるものなので、再びウォーキング協会の認定が受けられるのかということや、事業廃止に至った経緯について情報収集しながら、「歩こう会」等の部会から意見をいただき、当事業に準ずるような施策を検討していく。

議長：勤務校の学生を対象にした調査では地域で行われるウォーキングイベントへの関心や参加意欲は高くなかったが、他市で開催された、写真を撮影しながらコースを廻るイベント、フォトロゲイニングに学生達と参加したところ、若い参加者もかなり多かった。さまざまなタイプのウォーキングイベントを実施すると良いのではないか。

スポーツ振興課：スポーツ振興がメインにはなるが、それだけでは集客効果が上がらないので、景色や写真撮影を楽しむ・SNS活用等のソフト面要素に加え、桃山学院大学の学生や社会教育委員の皆様のご意見も取り入れながら検討していきたいと考える。

委員：ニュースポーツイベントが開催されているが定員に達したことがなく、参加者が少ないと聞いている。大学と連携した良い事業だと思うので、活性化に向けて検討していただきたい。

スポーツ振興課：これまでの周知方法等を見直し、広くご参加いただけるよう改善していきたい。

生涯学習部：4月にリニューアルした市ホームページの、「部長のとおき」でもニュースポーツを取り上げているが、今後も周知に努めて参りたい。

議長：以上で、本日の案件はすべて終了いたしました。

これをもちまして、本日の社会教育委員会議事を終わらせていただきます。ありがとうございました。